

# さくらの花だより

豊中市教育委員会  
学校教育課計画係  
令和5年(2023年)1月  
NO. 19

## いよいよ最後の3学期がスタート

いよいよ3小1中にとっては最後の3学期も始まり、今年度の取り組みも終盤を迎えるとともに、4月に開校する「庄内さくら学園」にむけての準備等を本格的にすすめていく時期となりました。それぞれの学校では、閉校にむけた取り組み及び新たなステージへの準備がすすめられています。

3小1中の教職員は、3学期のスタートにあたり「ケアする学校づくり」というテーマで合同研修会を1月11日にもちました。来年度開校する庄内さくら学園のめざすべき姿や具体的な取り組みを考える土台について考え交流する時間となりました。

また庄内さくら学園中学校PTAでは、庄内さくら学園中学校の最終年度にあたって、中学校PTAは生徒の一番の応援団でありたいと考え、「生徒からPTAに支援して欲しいこと」を生徒会の代表の人たちと交流会を行いました。生徒たちからは様々な考えや思いが伝えられましたが、PTA実行委員会や学校とも協議し、以下の点について応援することを決定しました。

①体育大会でクラスや仲間との団結力をさらに進めるために、クラスカラーに合わせてハチマキを送りました。体育大会当日は、競技中はもちろん、応援席で応援にも工夫して活用しているクラスがたくさんありました。

②閉校に際して、みんなで記念になることをしたいとのことを受け、「さくらの花だより18号」でお伝えしましたが、グラウンドにおいて全員で人文字をつくりドローンで撮影して記念グッズの作成に向けて現在進めています。

③卒業式の日、記念の撮影ができる「映えスポット」の準備も進めています。中身については当日のお楽しみになっています。

この他にも、様々な意見がありましたが、コロナ禍であることや最終年度であることを考慮し、上記の点について応援団を募り実現に向けて進めています。また、次年度開校する義務教育学校では、5年生から標準服を着用するため、標準服のリユースにも取り組んでいきたいと考えています。

## 感動！「はばたけ豊中の子どもたち」

1月21日(土)に、豊中市人権教育研究協議会主催(豊中市教育委員会共催)による第34回人権・平和の集い「はばたけ豊中の子どもたち」が、豊中市立文化芸術センターにて開催されました。これは豊中市内の子どもたちが、学校園で学んできた人権や平和の大切さや仲間づくりで感じてきたことを表現活動として発表しあい、交流を深めるとともに広く発信していこうと

いう趣旨で取り組んでこられたものです。コロナの関係で3年ぶりの開催となりましたが、子どもたちのいきいきと発表する姿は感動を呼ぶものでした。今年は、豊中市内の1園・4小学校の子どもたちが、大ホールの舞台に立ちました。その中で、庄内小学校6年の子どもたちが劇「不言色の蛍」、野田小学校6年の子どもたちが劇「つなげよう平和のバトン」を発表し、大きな舞台に少し緊張しながらも一生懸命の演技は輝きを放っていました。2小学校とも11月の学習発表会で発表されたもので、いのちの大切さや平和への思いを仲間とともにしっかり受けついでいこうという思いにあふれた内容で、とても素晴らしいものとなりました。庄内小、野田小のみなさん、ご苦労さまでした。



庄内小学校6年の子どもたち



野田小学校6年の子どもたち